

春陽の候 全国段ボール工業組合連合会様においては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本校デザイン科では、今年度3年生の「課題研究」という授業で「ダンボール応援PR動画」の制作に取り組みました。

つきましては、段ボール関係の諸会社の方々に、この動画について知っていただき、広告としての活用を考えていただくことが叶ったらと願い、お便りさせていただきました。

災害時やコロナ禍の中で私たちの生活を支える段ボールへの感謝の気持ちを込めて制作に取り組みました。段ボール素材の提供をいただいた、株式会社グッドワーク(香川県三木町)の平井信明会長の「段ボールの素材でシンプルな構造と素材だからこそ力強く長い歴史を生き抜いている」という言葉が私たちの心にささり、共有し合う表現イメージとなり、協力し合う「柱」となりました。飾らないありのままの素材力で社会を支えている段ボールの在り方を、私たちは「黒衣(くろこ)」的存在としてとらえ、「支え、サポートするエネルギー」を動画表現に取り入れることを考えました。そして私たちはコンピュータによる加工はせずに、段ボール箱で作った高さ2m70cmのシンプルな人形を「黒衣」に扮して支えながら、その支える私たちの力や時間を写し込んだ写真の積み重ねによって動画を作り上げました。私たちの「黒衣」の姿で、社会を支え続ける段ボールの力と時の重なりを表現したいと考えたのです。ストーリーは、段ボール箱に命が宿り胸の箱から未来へのエネルギーが吹き出し夢を与えるというもの、音楽もすべてデジタルで作っています。

動画はYouTubeに掲載しています。段ボール関連の仕事をしている多くの皆さんに見ていただき、私たちの応援する気持ちを受け取っていただければと願っています。

そして、気に入っていただければ、段ボール関連諸会社のホームページでの活用を検討していただきたいと思います。活用の際は、本校が

YouTubeに掲載している動画にリンクする形での掲載活用を願っています。

別紙に動画のURLと制作過程にてローカルニュースとして地元テレビ局KSBさんに取材いただいたテレビ放映のURLを記載いたします。また、地元四国新聞に掲載された記事を同封いたしますので、参考にいただければ幸いです。

なお、以上の私たちの提案と意向については、今回の取り組みで
お世話になった(株)グッドワークさんも同意していただいております。

なにとぞご検討いただきたくお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴連合会様のますますの繁栄をお祈りいたします。

令和3年3月3日

香川県立善通寺第一高等学校デザイン科
令和2年度3年生一同(男子2名,女子28名)
代表生徒 白川美姫
教員責任者 教諭 中野和美